

資料編

◆数値目標

指 標 ★印：重要指標		現状値	目標値
I 林業の競争力強化			
1 木材流通・加工の基盤強化と需要拡大			
1-1	★木材産業産出額（千万円／年）	8,261	11,800
1-2	県産木材製材品生産量（千m3／年）	118	168
1-3	★県内木材総需要量における県産木材率（％）	47	60
1-4	★製材工場における国産材製品出荷量（千m3／年）	71	検討中
1-5	原木市場を介した(群馬型木材流通システム)原木直送量（m3／年）	33,065	70,000
1-6	県産木材製品の輸出量（m3／年）	1,201	4,000
1-7	公共建築物（3階建て以下）の木造率（％）	40	50
1-8	ウッドスタート宣言市町村数	3	10
2 林業システムの改革			
2-1	★林業就業人口1人当たりの林業産出額〔林業〕（千万円/人・年）	174	232
2-2	★山元立木価格〔スギ〕（円/m3）	2,596	3,596
2-3	林業産出額〔林業〕（千万円／年）	256	400
2-4	★素材生産量（万m3／年）	379	500
2-5	造林面積（ha／年）	136	400
2-6	高性能林業機械稼働台数（台）	187	250
2-7	森林経営計画策定面積（ha／年）	32,924	50,924
2-8	路網の開設延長（km） ※森林経営計画内のH23～R12累積延長	975	2,900
2-9	素材生産性の向上率（％） ※意欲と能力のある林業経営者における平均素材生産性	—	2
2-10	森林資源情報の高度化面積（千ha）	0	231
2-11	3Dレーザー、ドローン等の活用による森林施業に取組む事業体数	—	16
2-12	林業従事者数（人）	688	850
2-13	★65歳未満の林業従事者数（人）	473	検討中
2-14	★林業従事者（現場技能者）の平均年収（万円／年）	—	500
2-15	新規就業者数（人）	0	650
2-16	死傷者数（人／年）	22	15
2-17	★林業試験指導機関人員率	0.6%	検討中
3 きのご産業の再生			
3-1	★きのご生産産出額（千万円／年）	516	600
3-2	きのご生産量（トン／年）	7,226	8,000
3-3	原木栽培における県産資材調達率（％）	76	80
II 森林の新たな価値の創出			
4 新たな森林資源利用			
4-1	★地域における木質バイオマスエネルギー活用に取組む市町村数	4	8
4-2	燃料用チップ・ペレット生産量（千m3／年）	119	163
5 『森林ビジネス』の創出			
5-1	★「森林ビジネス」取組地域数	13	25
5-2	森林公園・県立公園(赤城・榛名・妙義)入場者数（千人／年）	1,910	2,198
5-3	★森林環境教育参加者数（人／年）	15,853	21,200
5-4	森林ボランティア団体会員数	4,647	6,100
III 森林の強靱化			
6 防災・減災			
6-1	★民有林治山事業施工面積（ha）	556	600
6-2	★民有人工林の間伐等森林整備面積（ha／年）	1,990	3,100
6-3	★民有人工林の整備率（％）	41	50
6-4	山地災害危険地区における保安林指定面積（ha）	800	2,500
6-5	野生獣類による林業被害（百万円／年）	222	現状値の2割減
7 災害への適応力向上			
7-1	市町村、管理企業との協定等の協定数	—	35
7-2	インフラ施設周辺森林整備箇所数	—	検討中

※「現状値」は令和元年度の実績値（平成30年度の実績値は赤色文字、令和元年度の暫定値は青色文字）

◆群馬県森林・林業基本計画(平成23年度から平成31年度)の実績

R2.12.1 現在

項 目	目 標	基 準 値	実 績	達成状況	評価	傾向
森林林業の再生						
施策①持続可能な森林づくり						
1.1_森林経営計画面積 (ha)	68,000	—	32,924	48.4%	未達成	↘
1.2_森林経営計画区域での利用間伐面積 (ha/年)	2,000	—	713	35.7%	未達成	↘
1.3_野生獣類による林業被害 (百万円/年)	331	321	222	149.1%	達成	↗
施策②効率的かつ安定的な素材生産体制の整備						
2.1_素材生産量 (m3/年)	400,000	205,000	378,509	94.6%	未達成	↘
2.2_森林GIS導入森林組合率 (%)	100	63	100	100.0%	達成	↗
2.3_提案型集約化施策実施事業体数	23	14	15	65.2%	未達成	↘
2.4_中核森林組合数	10	7	10	100.0%	達成	↗
2.5_認定事業体数	50	37	51	102.0%	達成	↗
2.6_森林経営計画区域での路網開設延長 (km)	1,300	0	975	75.0%	未達成	↘
2.7_高性能林業機械稼働台数 (台)	200	104	187	93.5%	未達成	↘
2.8_高性能林業機械を駆使した素材生産専門チーム数	62	32	63	101.6%	達成	↗
2.9_素材生産性 (m3/人・日)	10	2.90	4.62	46.2%	未達成	↘
施策③加工流通体制の強化						
3.1_木材安定供給協定締結数 (件)	7	1	20	285.7%	達成	↗
3.2_原木市場を介した原木直送量 (m3/年)	30,000	8,000	33,065	110.2%	達成	↗
3.3_県外への県産材移出量 (m3/年)	50,000	41,000	99,466	198.9%	達成	↗
3.4_県産材製材品生産量 (m3/年)	190,000	127,191	118,289	62.3%	未達成	↘
3.5_建築用集成材生産 (m3/年)	30,000	11,000	11,812	39.4%	未達成	↘
3.6_JAS取得製材工場数	20	2	5	25.0%	未達成	↘
3.7_製紙用チップ・その他生産量 (m3/年)	50,000	36,696	41,879	83.8%	未達成	↘
3.8_燃料用チップ・ペレット生産量 (m3/年)	110,000	0	118,875	108.1%	達成	↗
施策④県産材の利用拡大及び県外需要の開拓						
4.1_ぐんま優良木造住宅建設累計戸数 (戸)	10,000	1,768	8,955	89.6%	未達成	↘
4.2_県産材率 (%)	50	38	47	94.0%	未達成	↘
4.3_県産材製材品の県外出荷量 (m3/年)	50,000	—	59,249	118.5%	達成	↗
4.4_公共建築物等木材利用促進方針策定市町村	35	0	34	97.1%	未達成	↘
施策⑤林業の担い手等の確保・育成						
5.1_林業従事者数 (人)	800	763	688	86.0%	未達成	↘
5.2_新規就業者数 (人)	4年間で200	—	198	99.0%	未達成	↘
5.3_60歳未満の林業従事者数 (人)	600	462	473	78.8%	未達成	→
5.4_現場技能者養成数 (人)	400	0	460	115.0%	達成	↗
5.5_森林施業プランナー養成数 (人)	100	14	101	101.0%	達成	↗
5.6_森林総合管理士養成数 (人)	40	0	16	40.0%	未達成	↘
施策⑥きのご産業等の振興						
6.1_きのご生産量 (トン/年)	10,000	11,014	7,226	72.3%	未達成	↘
6.2_きのご生産額 (億円/年)	60	66	51	85.0%	未達成	↘
6.3_中核的きのご生産者数	150	138	80	53.3%	未達成	↘
6.4_県内産しいたけ原木の購入数 (m3/年)	13,000	13,653	6,254	48.1%	未達成	↘
6.5_農業生産工程管理(GAP)等取組生産者数	7	2	5	71.4%	未達成	↘
6.6_主要生産きのご品目数 (品目)	5	4	3	60.0%	未達成	↘
森林環境の保全						
施策⑦公益的機能の高い森林づくり						
7.1_間伐等森林整備面積 (ha/年)	3,500	2,267	1,990	56.9%	未達成	↘
7.2_広葉樹造林面積 (ha/年)	100	85	59	59.0%	未達成	↘
7.3_民有林治山事業による森林整備面積 (ha)	4,000	—	3,496	87.4%	未達成	↘
7.4_山地災害危険地区における保安林指定面積 (ha)	500	—	800	160.0%	達成	↗
7.5_民有林治山事業施工面積 (ha)	600	—	556	92.7%	未達成	↘
7.6_平地林保全面積 (ha)	530	526	526	99.2%	未達成	→
施策⑧森林を支える仕組みづくり						
8.1_森林ボランティア団体会員数	5,500	3,800	4,600	83.6%	未達成	↘
8.2_企業ボランティア協定締結数 (件)	50	27	41	82.0%	未達成	↘
8.3_森林環境教育参加者数 (人/年)	7,000	2,200	15,800	225.7%	達成	↗
8.4_森林によるCO2吸収量認定件数 (件)	40	8	26	65.0%	未達成	↘
8.5_森林公園入場者数 (人/年)	540,000	483,407	430,682	79.8%	未達成	↘

※ 赤色斜字は平成30年度実績値

◆用語解説

あ

ICT

情報通信技術（英：information and communications technology、ICT）。

情報技術（IT）を拡張した用語

ウッドスタート宣言

ウッドスタートは、東京おもちゃ美術館（認定 NPO 法人日本グッド・トイ委員会）が展開している「木育」の行動プラン。全国の自治体や企業、保育所・幼稚園が、乳幼児に地産地消の木製玩具を祝い品として贈呈する事業や、子育て環境に地域材をふんだんに取り入れ木質化する事業などに取り組むにあたり、同委員会との間でウッドスタートに関する調印を行うことを「ウッドスタート宣言」と称している。

AI

人工知能（Artificial Intelligence（アーティフィシャル インテリジェンス））の略称

A材、B材、C材

A材：欠点のない直材で、主に一般製材用として用いる。

B材：小曲等のある材で、主に集成材、合板用として用いる。

C材：大曲や欠点のある材で、主にパルプ・チップ用として用いる。

FAO

国際連合食糧農業機関（The Food and Agriculture Organization of the United Nations）

FAOSTAT

国連食糧農業機関データベース（The Food and Agriculture Organization Corporate Statistical Database）

か

皆伐・再造林

一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採し、再び苗木を植えて森林を造成すること。

花粉症対策に資するスギ苗木

花粉の発生量が有意に少ないスギ苗木を指し、花粉症対策品種（「無花粉」、「少花粉」、「低花粉」品種として(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターが定めた基準により開発したもの及び花粉の生産に関する特性がこれと同程度のもの）のスギ苗木、並びに特定母樹から採取された種穂から生産されたスギ苗木

菌床栽培

オガクズなどの木質素材に米糠などの栄養源を混ぜた人工の培地（菌床）で、きのこを栽培する方法。

ぐんま緑の県民基金事業

県民税均等割の超過課税として「ぐんま緑の県民税」を導入し、奥山など立地条件等が不利で、林業経営が成り立たずに放置されている森林の整備や、市町村が管理する簡易水道等の取水口の上流に位置する森林の整備、あるいは松くい虫被害を受けて藪などになった森林を再生して、森林の公益的機能の発揮を図る整備などを行っています。また、市町村と地域住民等との協働により、住宅や道路など生活圏に近い里山・平地林などの整備、貴重な自然環境の保護・保全、森林環境教育などの取組に支援を行っています。

原木栽培

コナラなど樹木を同じ長さに切ったもの（原木）に穴をあけて種菌を打ち込み、菌を蔓延させてきのこを発生させる方法。

構造用集成材

所要の耐力を目的として等級区分したひき板(ラミナ)を集成接着したものであって、所要の耐力に応じた断面の大きさと安定した強度性能を持ち、大スパンの建築物の建設も可能です。

高性能林業機械

従来のチェーンソーや刈払機等の機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い林業機械

さ

山地災害危険地区

山くずれ、地すべり、土石流が発生した場合、人家や公共施設に被害が及ぶ恐れが高い地区、また、過去に実際に被害があった地区について調査し、その危険度が一定以上の地区を山地災害危険地区としています。

JAS 規格

日本農林規格（Japanese Agricultural Standard）のこと。農産物や畜産物、水産物などの他、それらの加工品につけられる品質保証のための規格

CLT

Cross Laminated Timber の略称で、ひき板（ラミナ）を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。厚みのある大きな板であり、建築の構造材の他、土木用材、家具などにも使用されています。

針広混交林

針葉樹人工林に広葉樹を交えた森林

人工林

植栽等により造林され、造林対象樹種が半分以上を占める森林

森林経営管理制度

経営管理を行う必要があると考えられる森林について、市町村が森林所有者の意向を確認後、森林所有者の委託を受け、民間の林業経営者に再委託するなどにより、林業経営と森林の管理を実施する制度です。

森林経営計画

森林を経営管理していくため、植栽、保育、伐採、路網作設及び火災等の防止など、計画作成者が5か年間に行う施業内容を定めた計画

森林セラピー

科学的根拠に基づいた森林環境での健康保持・増進の活動

森林認証

独立した第三者機関が環境・経済・社会の3つの側面から一定の基準をもとに適切な森林経営が行われている森林または経営組織などを認証し、その森林から生産され木材・木材製品にラベルを付けて流通させることで、持続可能性に配慮した木材についての消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する民間主体の取り組みです。

スマート林業

生産性や安全性の飛躍的な向上、需要に応じた高度な木材生産を実現するため、地理空間情報や ICT 等の先端技術による資源管理、施業方法

セルロースナノファイバー

鋼鉄の1/5の重量で約5倍の強度を持つ植物由来の素材であり、木材等の植物繊維（セルロース）を化学的、機械的に処理してナノサイズ（1nmは100万分の1mm）まで細かく解きほぐした極細繊維状物質

Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）

た

地籍調査

主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査です。「地籍」とは、いわば「土地に関する戸籍」のことです。

天然更新

森林の伐採後、前生稚樹や自然に落下した種子等から樹木を定着させることで、森林の再生（更新）を図る方法

天然林

人工林以外の森林

は

萌芽更新

樹木の伐採後、残された根株の休眠芽の生育を期待して森林の再生を図る方法

ま

目標林型

目標とする森林の姿のこと。

な

二次林

自然、人為の如何を問わず、何らかの原因により植生が強く、あるいは頻りに攪乱された後に成立した、二次遷移の途中にある森林。

二次遷移とは、前代から残された土壌の上でスタートした遷移のこと。

農業生産工程管理（GAP）

農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

林業産出額

林業生産の実態を金額で評価することにより明らかにし、林業行政の推進等のための資料を整備することを目的として集計され、各林産物生産量（木材統計調査、特用林産物生産統計調査等から得られる品目別生産量）に価格（木材生産にあつては樹種ごとの山元土場価格、木材生産以外にあつては庭先販売価格）を乗じて推計された額。